

10月6日(日)開催

時間：午前10時～午後4時

ところ：村総合福祉センター^{ほか}

昭和の秋まつり

第22回

昭和村の秋の味覚たっぷり

こんにやく大鍋

8,000名様分をご用意!

協賛団体出展

- 横浜市友好交流コーナー ● 横浜ミニ中華街
 - 村内企業と村関係団体による出展 ● 福祉まつり(福祉バザーなど)
 - ドローン・ロボットフログラミング教室 ● 牡蠣小屋 ● タカラトミー・ベイブレードバースト ● 仮面ライダーゼロワン
 - 特設人権相談所 など
- ◎ 昭和の湯に入浴の場合は、協力費2,000円です。



リレーバス等をご用意しています。
 ※車での来場の際は昭和村中学校グラウンド・南小学校の臨時駐車場をご利用ください。
 ※駐車場では決められた場所をご利用下さい。

イベントスケジュール

9:30	オープニングセレモニー
10:00	昭和中吹奏楽部
10:20	こんにやく大鍋
10:30	フォークダンス(JA久呂保)
10:40	フラダンス(ハノハノ)
10:50	キャラクターショー①
11:20	投げ餅①
11:40	生越太鼓
12:00	IKO 極真空手松島道場型披露
12:30	ミニステージ
12:45	オールスターチア
13:10	だんべえ(JA系之瀬)
13:30	キャラクターショー②
14:00	投げ餅②
14:30	コーラス・アンダンテ
15:00	お楽しみ大抽選会

※内容は変更になる場合があります。

正禅寺の涅槃図

昭和三十二年（一九五七）角田 勝美

正禅寺について、利根郡誌、村誌久呂保をみても、創立時代は不詳である。文永の頃、青峰白元和尚なる者が森下御門に来て、阿弥陀如来を安置し、阿弥陀堂を営むが建治二年（一二七六）十一月八日示寂する。その後、元和の初め旧桃野村嶽林寺六世笑岩永伝大和尚を請じ開山とし、赤城山無量寿院正善寺と称す。

元和七年（一六二二）森下御門の地より現在地、椽久保の地に伽藍を移し山号を改め曹洞宗青竜山正禅寺となす。

二世和尚の代、寛政年間（一七九九～一八〇〇）本堂焼失。第九世和尚の時、文化九年（一八二二）本堂再建中、大風にて倒壊。第十世和尚の代明治二十三年（一八九〇）表門を残し全焼。大正八年（一九一九）本堂庫裏再建、その後火災なく現在に至る。

二度の火災で宝物等は焼失したが、本尊様、外仏像、位牌若干および涅槃図は搬出助かった。

- 一、絵 天保二辛卯年 清夏 干遊沼田城内増園精舎に岱於「羽呂霞右衛門焦出写」
- 二、表具経師 旧沼田町下之町 周助 作成年代天保三年（一八三二）
- 三、形式（掛軸）縦二、八五米、横一、六七米
- 四、保存状態 良好、色彩も比較的良い。



涅槃図は、お釈迦様の最後の旅立ち御入滅の図である。お釈迦様は大変慈悲深く、分別せず、生きているものすべてに情けをかけた仏様である。お釈迦様は自分の死期を覚り、沙羅双樹の下、宝床に頭を北向きに右脇を床につけ、右手で手枕をし静かに涅槃に入られた。回りには弟子達その他の人々、動物鳥類虫類等、多数の生物が集まり、偉大なお釈迦様の入滅を嘆き悲しんでいる図である。

「利根郡誌・村誌久呂保」参照



地域包括支援センターだより

地域にとって大切な場所、サロンの活性化を目指して！

～第14回きずなサポーター会議（8月30日）の報告～

暑さの中にだんだんと涼しさも感じられる8月末、第14回きずなサポーター会議を開催しました。今回も50名を超えるきずなサポーターの皆さんに出席していただきました。

今回のきずなサポーター会議では医療法人大誠会・内田病院グループ統括介護部長の黒木勝紀先生をお招きし、「シナプソロジーで脳を活性化一心と身体を元気にしよう！」の講義を行いました。

シナプソロジーとは何か、なぜ脳を活性化させること

が大切なのか、ということ「相違じゃんけん」「腕振り3ストップ」など、体と頭を同時に使うレクリエーションを交えながら学びました。体と頭を同時に使うレクリエーションは「できるようにすること」が目的ではなく、脳の混乱を楽しむことが重要です。

きずなサポーターの方からは「おもしろくて笑い疲れたわ」「全身を使って楽しかった」といった感想をたくさんいただきました。今回も、笑いの絶えないきずなサポーター会議となりました。

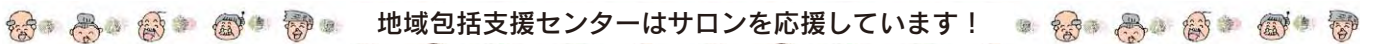


「相違じゃんけん」を楽しみながら学びます



楽しそうに講義を受けるきずなサポーターの皆さん

次回きずなサポーター会議は、10月25日（金）午前9時30分より 地域活性化センター



地域包括支援センターはサロンを応援しています！